

復興通貨フォーラムに参加

3月16日に一関市で復興応援地域通貨フォーラムが行われ、世話人8名が参加しました。

有することができ、実りあるフォーラムになりました。

オープニングでは平田どうもの会が釜石よいさを披露しました。その後、釜石市、南三陸町、大槌町、塩竈市、大船渡市の順に地域通貨への取り組みと課題について発表がありました。

同じ復興応援地域通貨とはいえ取り組み方の違いがあることがわかり、また課題を共



一年間ありがとうございました

岡本 淳

さわやか福祉財団の釜石担当として平田どうもの会の活動をサポートさせていただきました。掃除、食事作り、草取りなど、助け合いの様子を生き生きと語る皆さんからいつも元気をもらって嬉しかったです。さりげない心遣いにあふれるどうもの会に参加すると、い

つも暖かい気持ちにもなれました。

4月から派遣元の神奈川県庁に戻ります。遠くからではありませんが、これからの会のご発展を心より願っています。一年間どうもありがとうございました。

地域の絆広げる通貨 高橋 昌樹

平田どうもの会は正式に発足するまで、平田第5仮設の集会所で幾度となく復興通貨の勉強会を開きました。

集まった方が抱く1つ1つの疑問や意見を共に考え、全員が納得し、道の先に光が灯ると一歩進む。釜石の方々の生き方だと思いましたが、自分たちの力で地域を復興させる強い意志を感じました。

釜石市内では、あちらこちらで「どうも」の新たな風が吹きはじめています。「どうも」が釜石の人と人を結ぶ、そして地域の絆を広げる復興通貨になってほしいと願っています。共に活動してください。どうもの会の皆さん、平田仮設の皆さん、釜石の皆さんに感謝いたします。

どうもQ&A

Q どうも券をもらうようにするにはどうすればいいのですか？

A どうも券をもらうようにするには、平田どうもの会への入会が必要です。

入会の条件は以下のとおり
・世帯主が義捐金をもらっている事。
・原則として平田第五・第六に住んでいる事。

入会の申し込みは下記事務局までお願いします。

編集後記

春は別れと出会いの季節ですが、さわやか福祉財団の高橋さんと岡本さんが研修期間を終えそれぞれの職場に戻ることにになりました。

お二方にはお世話になりました。それぞれの職場で活躍される事を願っております。

事務局

岩手県釜石市平田五・八四・五
平田パーク商店街A棟一〇八
コンノ電器内
電話〇一九三・二六・五五〇八